

M I S S I L E B L A C K



Zigurat

ジグラット

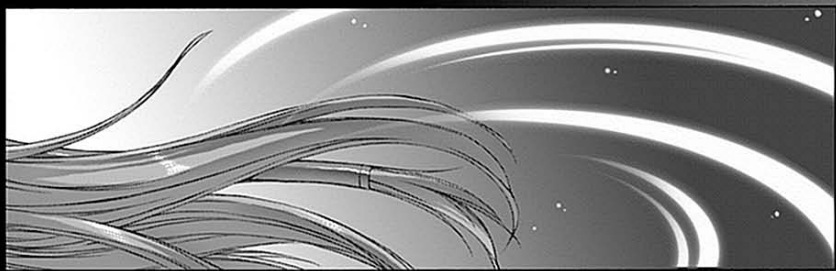
立ち読み版



Contents

Relic : 001	それは、ありふれた非日常。	7
Relic : 002	それは、使い古しの秘密。	41
Relic : 003	それは、ありきたりの脅威。	67
Relic : 004	それは、どこにでもある悲劇。	101
Relic : 005	それは、しろがねの定石。	131
Relic : 006	それは、しろがねの定番。	161

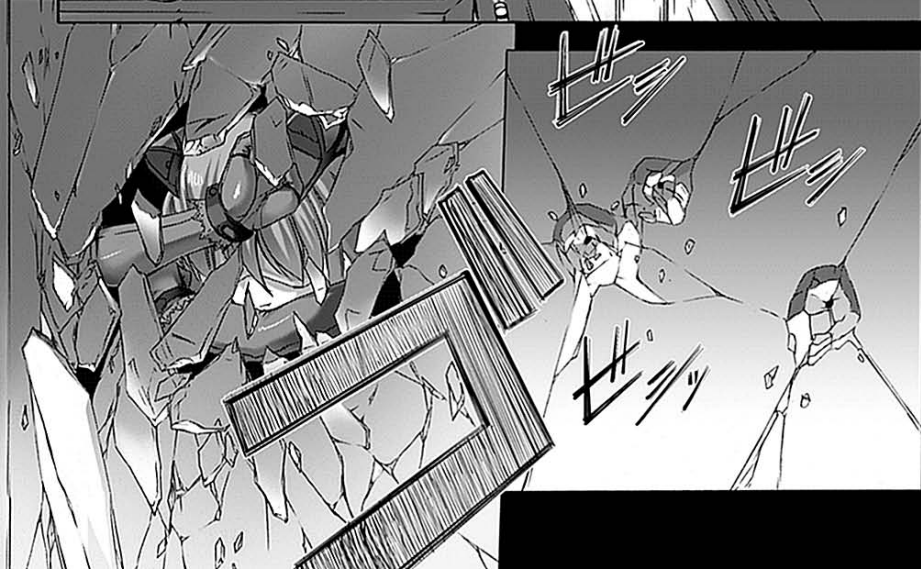
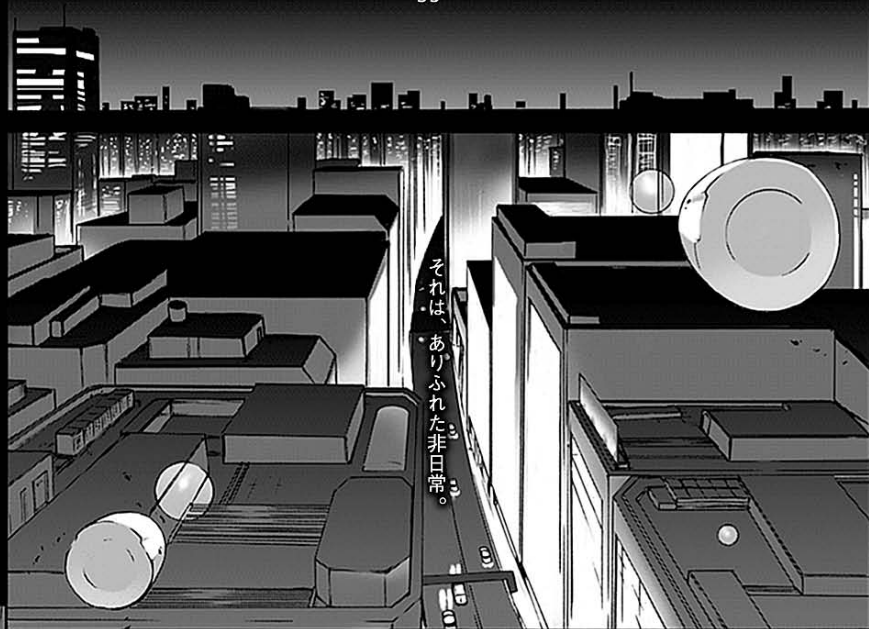
謎と秘密と陰謀と
酔った勢いの与太話を愛する
すべての人々へ



Journal

Z.

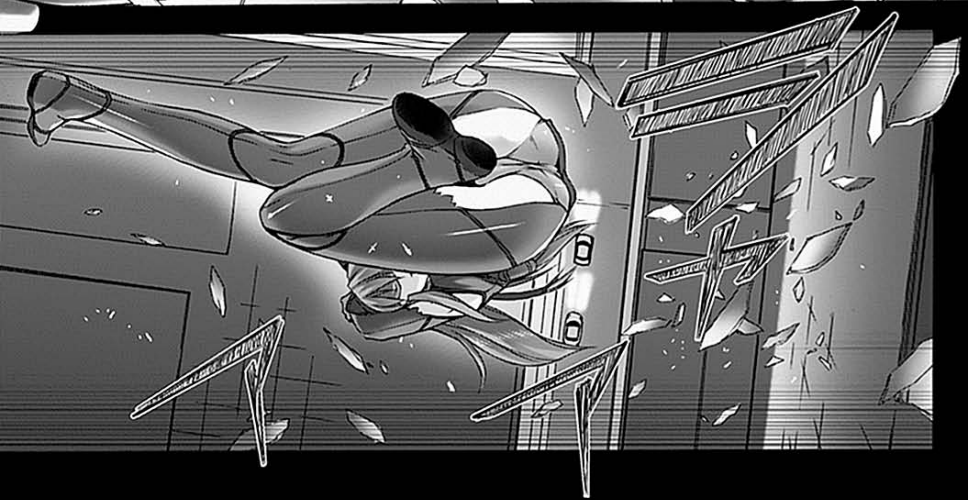
Ziggurat

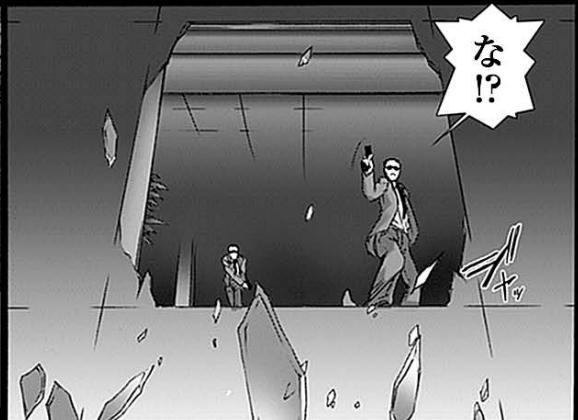


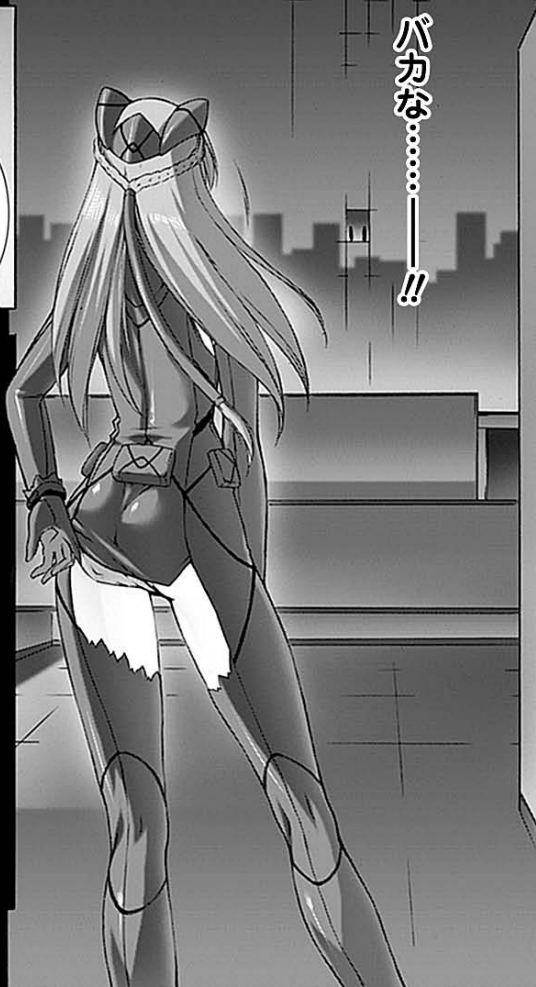
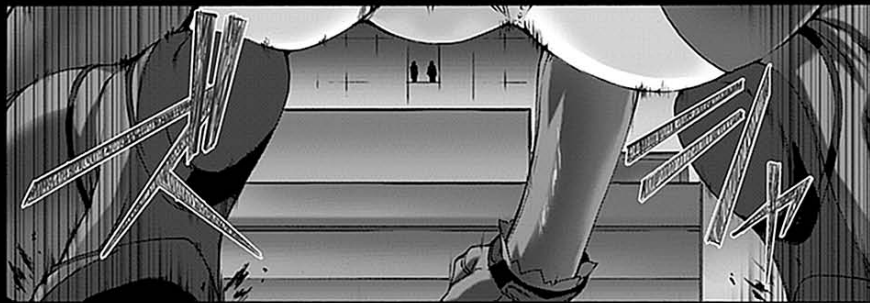


Zigurat


Relic : 001







…それにしても
いきなり
撃ってくるなんて



そこまでやらせる
お前は何者だ？

!

サッ



…あなたは…
いつかのオジサマ





どうして
ここが？

た・ま・た・ま・た



俺が予測で
当てられるのは
T Vドラマの殺人犯が
せいぜいだしな

力技ね



まあこ謙遜

ともかくまずは
盗んだものを返すんだ
特殊手配犯9号



そんな
凶悪犯みたいな呼び方
やめて下さる？
オジサマ

私は……
うーん……



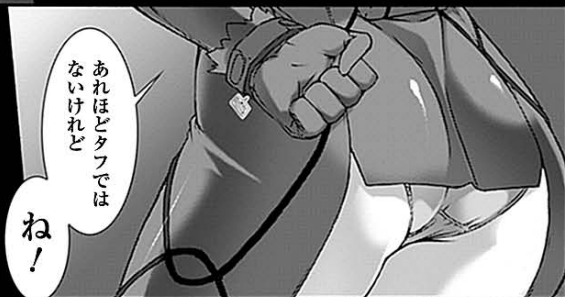
ビルの周りで
一時待避所に使えそうな
何件かを巡回して
待っていた



トリニティ?

泥棒が
キャリーリアン・モスを
気取るのか

トリニティ

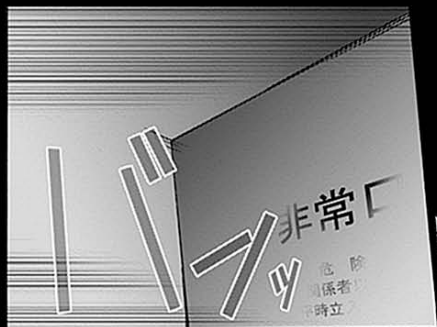


あれほどタフでは
ないけれど

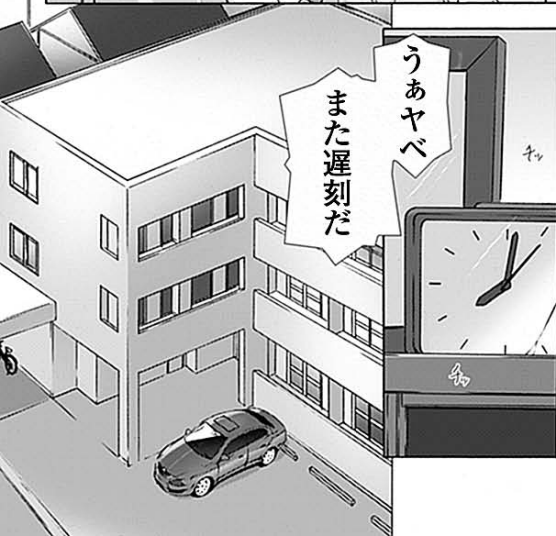
ね!

7y











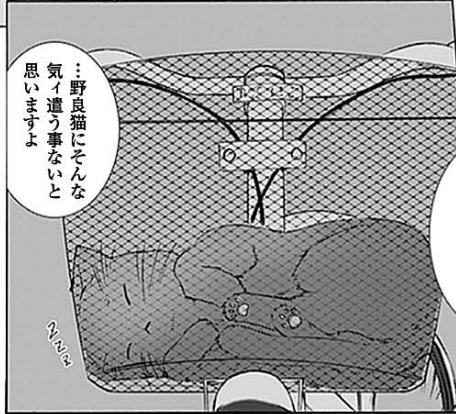
あおはよう
ございます



おはようございます
大家さん



お



：野良猫にそんな
氣イ遣う事ないと
思いますよ



はい
そうなのですが

なかなか起きて
下さらなくて：

今日は大学^学じゃ
ないんすか



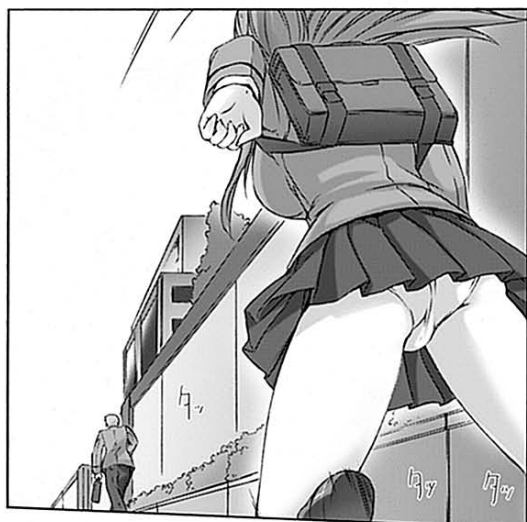
お氣をつけて

そんじゃ
急ぎますんで



お前も毎朝
撒去されてんだから
いい加減他所行けよ

ぱらりー



キララ



締め出されずに
すんだか
ナイス抵抗

ふう



おはよう
ございます会長
今日も可愛いですね

あたりまえだ
アタシ様はこの世の
終わりまで可愛いと
決まってる



翻って
毎日クソ忙しい
アタシが朝からお前を
呼び止めた件だが

お邪魔をしては
申し訳ない
俺はこれで失礼します



おはよう
やまじ
大和 鐸



反省文を
提出しーやがれ!!

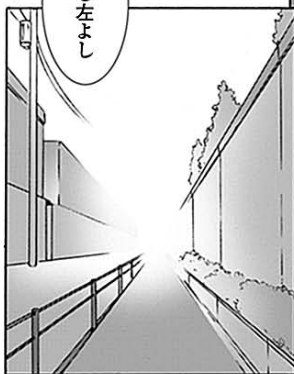
ホコ

そうはいくか
この田吾作!!

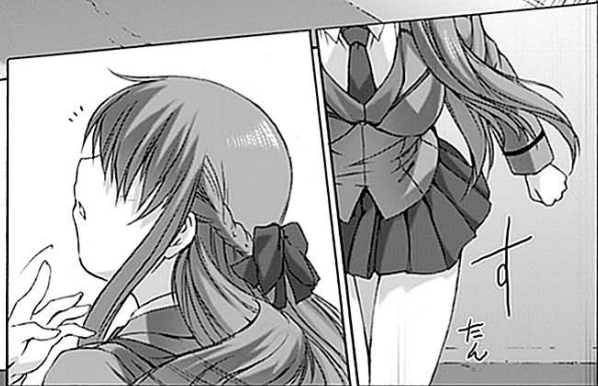
毎朝毎朝
毎朝毎朝遅刻
しやがって!

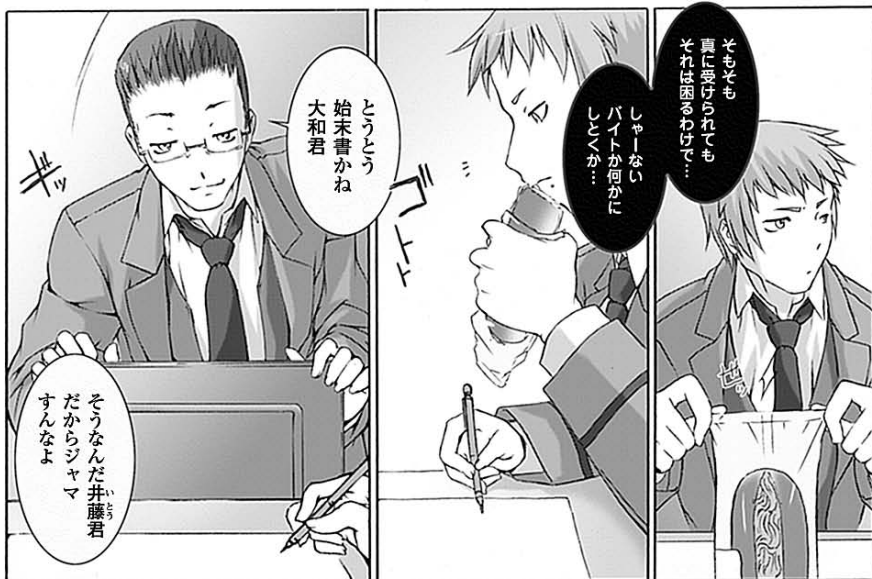
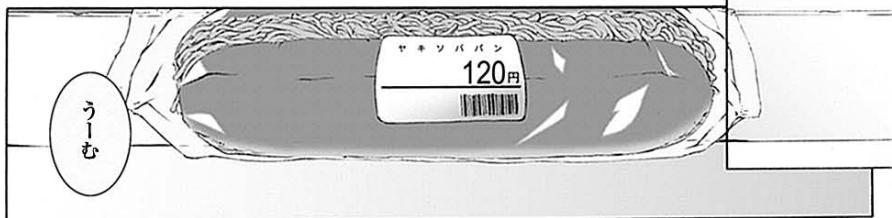


右よし左よし



……あ……ん







わねエのかフタ野良
きてア
いよう
気持ちはよくわかるが
人前で口に出すような
性癖じゃないな

ツッ
汚
が
あ、可愛い足で
「フタめ」とか罵られながら
踏まれたりしたいじゃない



さすがに
ドMだな
井藤君

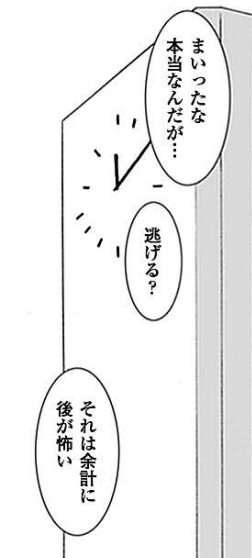
いいじゃないの
生徒会長の
愛のムチよ
羨ましいねえ



これは会長
ご機嫌麗しゅう

この
ロリコンどもめ

お断りしておきますが
俺は会長が小さいから
好きなのではなく
人とナリに惹かれる
会長がたまたま
小さかったという
だけです



まいったな
本当なんだが…
逃げる？
それは余計に
後が怖い

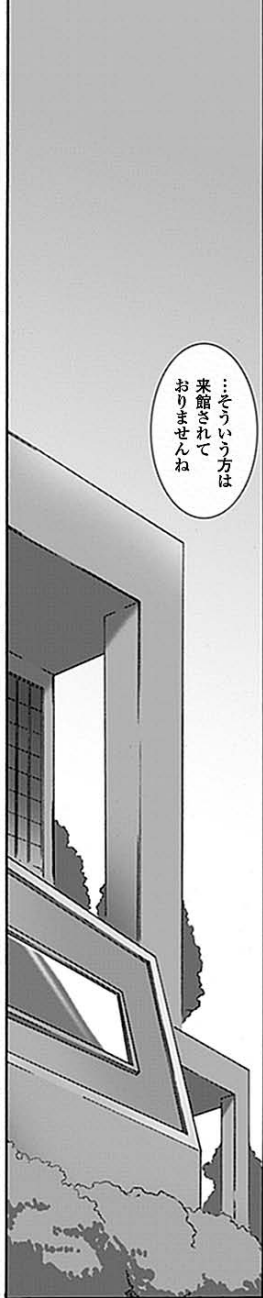


あ！今日は
ちよつと用事が…
うるせえ
来いったら来い
大和
用があるから
後で来い



小さいって
いうな
しかし井藤はただの
ペド野郎です

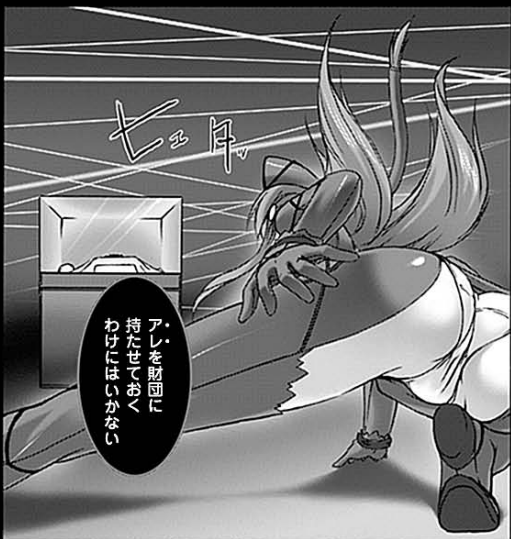
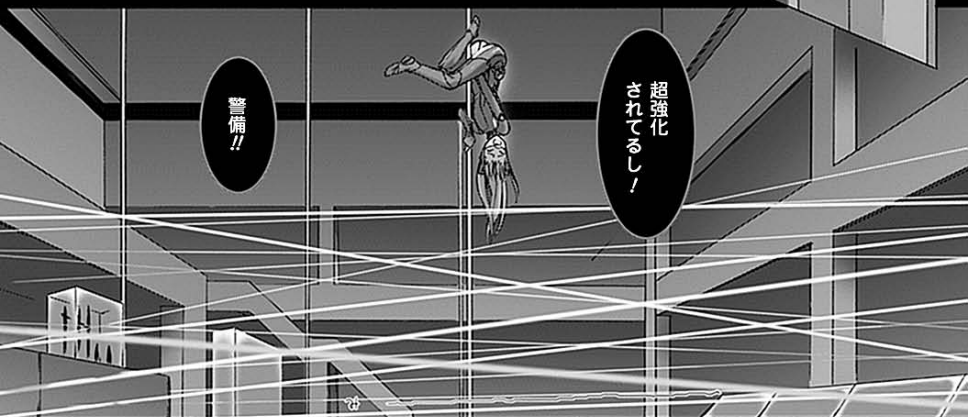


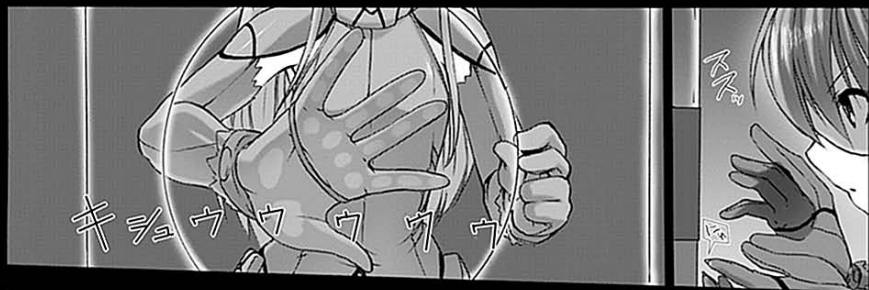












キラウウウウウ

スズ



「歯車」...



ぽん



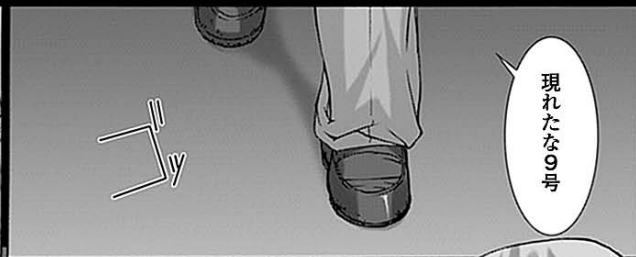
一生かけて
守らうとしたもの
カケラ



おじい様が
曾祖父様が



…



現れたな9号



…何だって
そんなものを
狙うんだ？

お前が今まで
侵入した所には
もっと高価なものが
いくらでもあっただろう



まあオジサマ

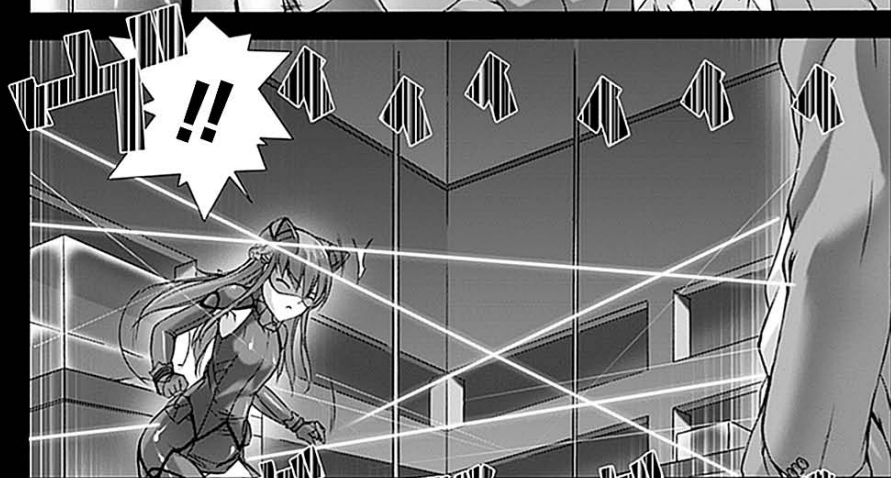
ごきげんよう



…確かにその通り

でも

欲しいかどうかは
値段じゃないでしょ？





こころ……

!?



私も聞いていい？
オジサマ

何だ!!

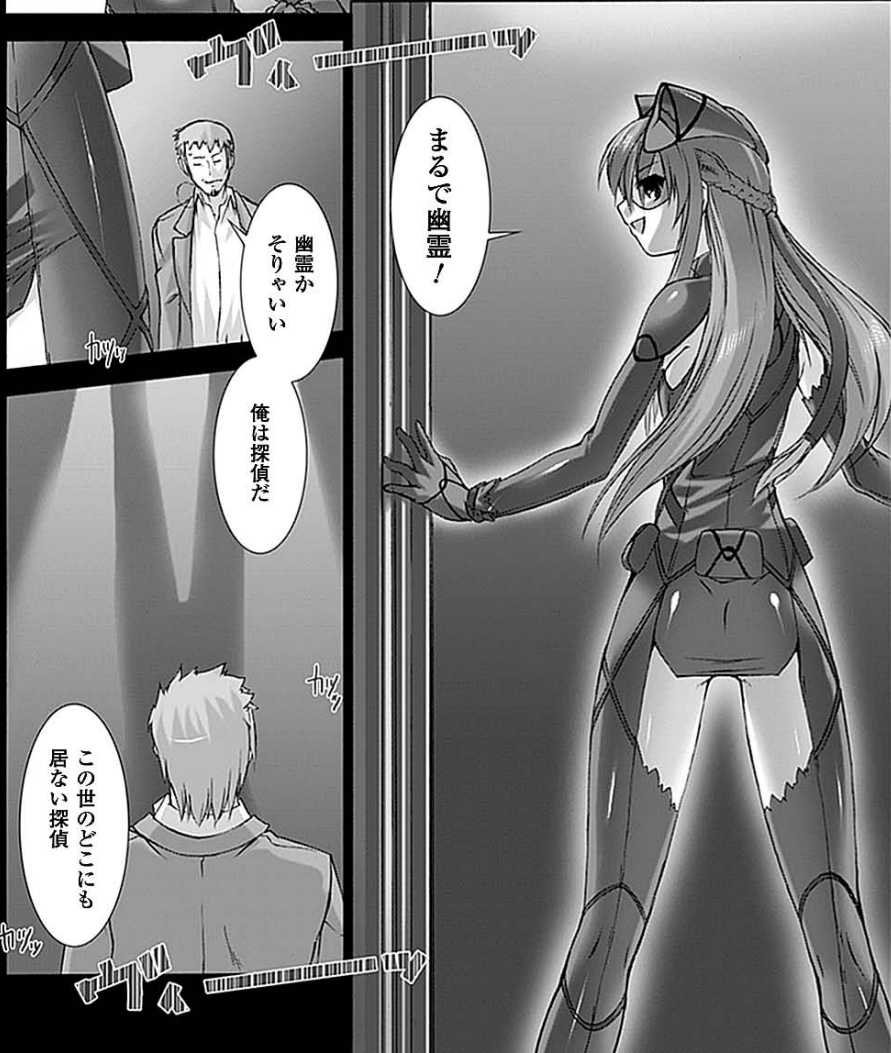




でも警官でも
警備員でも
財団のエージェント
でもない

私の
行く先々に
現れる

あなたは
何者?
オジサマ!



まるで幽霊!

幽霊か
そりゃいい

俺は探偵だ

この世のどこにも
居ない探偵

まあ当面は

お前が邪魔で
仕方ない男…

だ!!

うおおわあ
あああ!

わお♡

いいわ!
素敵よオジサマ!



いんげん

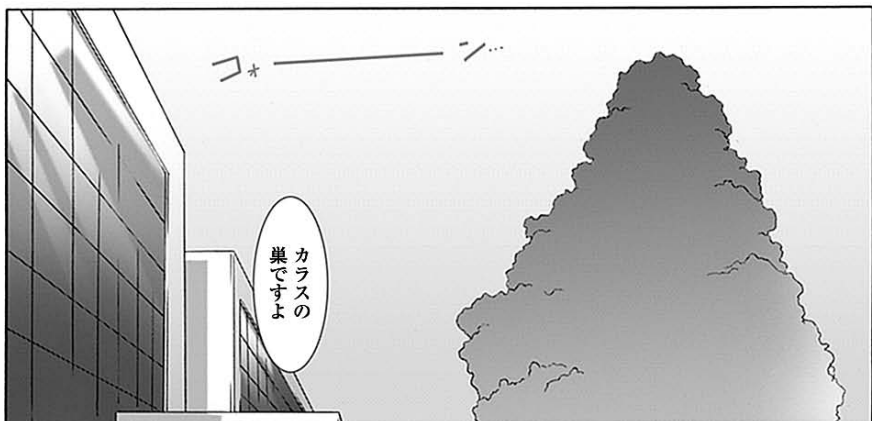
世界は謎に
満ちてるわね！

ごきげんよう
オジサマ♪

今に見てるよ
9号——！！

ミクソ
またしても…

ガッ



この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
TEL.03-3555-3431(販売) / FAX.03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。

また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>